

# 男鹿半島・大潟ジオパーク 全国大会 参加報告

有珠山周辺地域ジオパーク友の会 市毛礼子

★ 期間 2017年10月25日～27日

★ 場所 男鹿市文化会館 男鹿温泉郷 及びジオツアー

◆ 全体会 10月25日 13:00～17:00

全体司会は高校生、ジオパーク紹介は中学生で住民全員が取り組んでいる事をアピールした  
緊張しながらも ユーモアを交えたしっかりした発表で好感が持てました

基調講演 「ジオパークを楽しく料理しよう！ーキッチン火山学ー」  
秋田大学 林 信太郎氏



身近な食材（ココア、粉砂糖、ミルクなど）を使った、噴火、カルデラ陥没、溶岩流などの実験の様子が画像を使って発表された 非常に良く出来た実験で試行錯誤の苦勞がしのばれ、子供たちに地球の活動を身近に感じて貰う為にどうすれば良いか日々考えている様子が伺えた 「地学」という地味な学問を面白く、身近に感じさせる授業は楽しいだろうと思われた 受験科目に地学を無くした文部省の役人に聞かせて欲しい内容でした

しかしちょっとしたアイデアと思いつきを実行に移すのは中々難しいと実感した

## パネルディスカッション

ジオパークを教育に活用する視点と地域の明日への投資

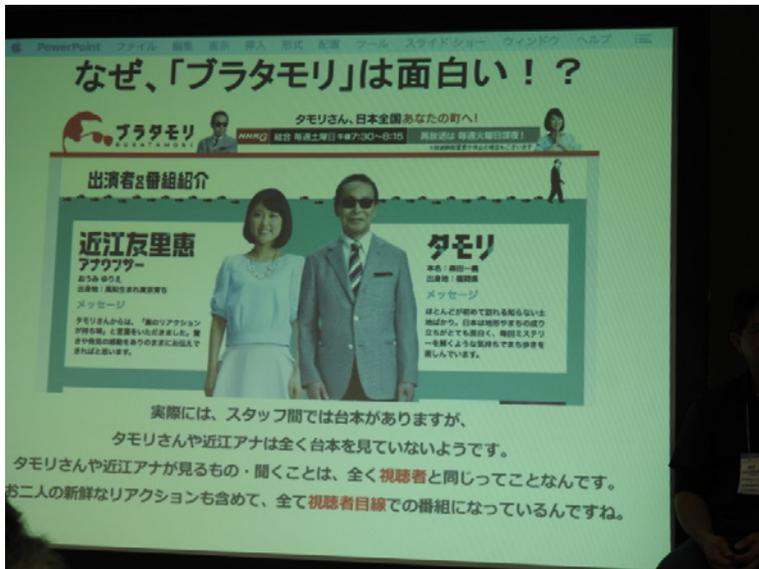
パネリストのむつ市の苦生（とまぶ）小学校教諭が下北ジオパーク立ち上げ時の小学生のジオパーク活動の様子、子供たちに自分達の住む地域の魅力を発見する楽しさ（郷土愛）を育んだ実績を報告した ジオパークの応援隊として、ジオサイトに行ってみて、触れて、実感し、下北の魅力を他の地域にも伝え、市長まで呼び込んで公開授業をしたり、ジオ給食を考えたり 地域と一体になって活躍する姿は目を瞠るものがあり、素晴らしい経験になったと思われる

## 分科会

### ガイド技術を考えるーインタープリションの視点からー

講師 帝京科学大学 古瀬浩史氏他

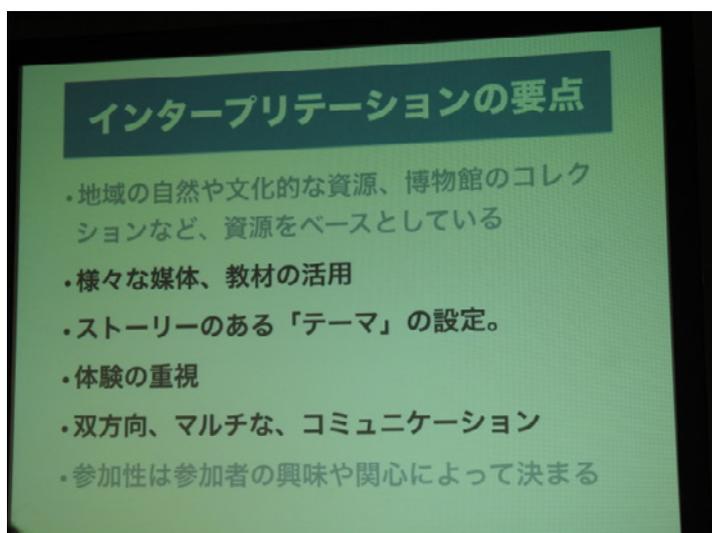
#### なぜプラタモリは面白い？



ひとつは沢山の取材（2か月位毎日の様にディレクターが訪問）100の面白い所を探し95個は捨てる徹底した取材、科学的に正確に、それでいて素人にも解る内容をプロの知識を持つタモリさんと、素人同然の女子アナとの掛け合いで視聴者を納得させる技法が素晴らしい 視聴者も一緒に番組に参加している様な雰囲気がある

タモリさん達には台本がなく興味の赴くままに話が進む所が又魅力になっている

#### インタープリテーション



インタープリテーションというちょっと解りにくい、日本語に訳しきれない表現だが インタープリターは参加者と自然（資源）をつなぐ役割であり、テーマ（単なる話題ではなく来訪者に持

ち帰って欲しいメッセージ 参加者と共有したいストーリーを短い文章で簡潔に記述したものを設定する事の重要性を強調された 単なる ガイドではなく参加者との双方向のコミュニケーションがいかにか大事かと言うことを痛切に感じた

4枚のカードを使つての自己紹介 その後のPKT（ぺちやくちゃタイム）

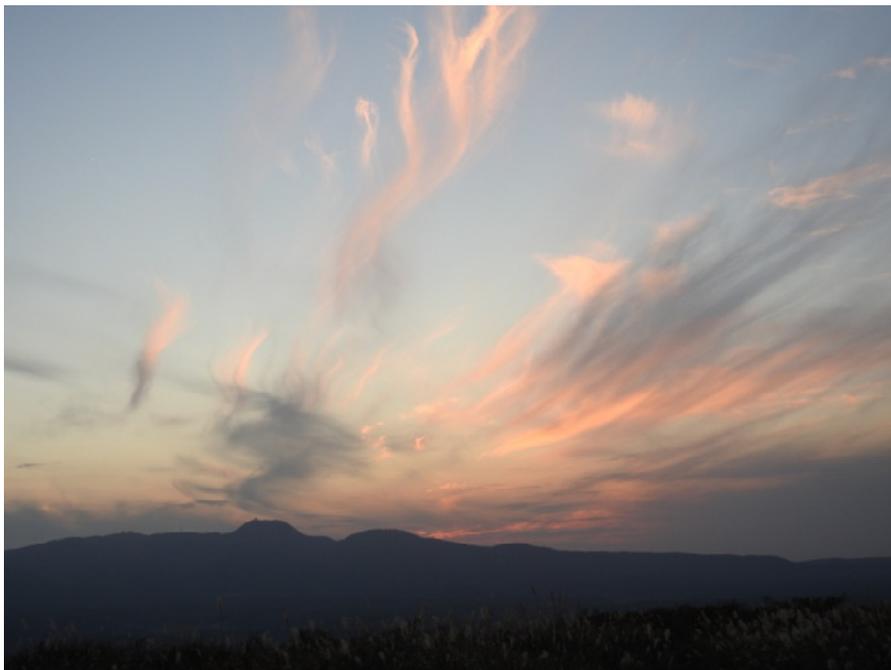
4枚という少ない枚数にする事により簡潔に言いたい事をまとめる能力が問われ、PKTでお互いの理解を深めるという インタープリテーションの実践が出来た

#### ★ジオツアー 10月26日～27日 滝&奇岩クルーズ

26日はジオパーク学習センターで男鹿半島の成り立ちと八郎瀉の干拓で出来た大瀉町の説明を受ける 何万年の歴史の男鹿半島とわずか60年にも満たない大瀉との比較が 洞爺湖と昭和新山との関係を彷彿とし面白い

寒風山での噴火口のガイドツアー 何度も噴火を繰り返し今の地形が出来た事、山焼をする事によって芝の山頂が残っていて美しい景観が保たれている事などの解説 山頂からの展望が素晴らしいと説明があったのに山頂に行かなかったのは残念

夕焼けの絶景を楽しむ もう少し早く撮影出来たら・・・



#### 27日は 観光船に乗って滝&奇岩ツアー

大陸とつながっていた時代に火山噴火によって出来た地形の不思議が伝わったツアーで思わず歓声をあげる様な風景が続いた、まさに“大地の物語”7万年前から現在までの大地の歴史を観察できる地形でした

複雑、壮大、厳しい崖、奇岩が連なる海岸線で、特にあちこちで見られる岩脈、グリーンタフの美しい岩、ゴジラ岩や巨大なテーブル状の岩礁 更にガイドの方言を使った昔話もありととても楽しいツアーでした 岩で出来た大栈橋や孔雀の窟 海に注ぐ大滝等、船でなければ見られない見所は男鹿半島の一番の魅力かなと思いました

入道崎の北緯40度の標識



鹿落としの急峻な崖 青い海と白い岩のコントラストが美しい



船が通れる巨大な洞窟 孔雀の窟



男鹿半島の一番の名所 ゴジラ岩 高校生が喜んで登っていましたが ゴジラは知らないとの事



ゴジラのしっぽ 岩脈です



グリーンタフ（緑色凝灰岩） 新第三紀中新生の海底火山活動による火山岩



最後に対岸に鳥海山も見え地元の漁師は鳥海山が見えると明日は雨だと言うとの事 先人の知恵を感じた

全体の印象として 「おもてなし」に満ちた全国大会だったと思います

一人のガイドさんが 「TTSSガイド」(つまらない、てきとう、知らない シャべらない)だと自己卑下していましたが、なかなか、方言を駆使して昔話から地層の事まで 朴訥とした語り部でした 知識だけでなく、自分の言葉でかたることの大切さを感じました